

県立高校3校が閉校

熊本県立牛深高校、河浦高校、苓明高校閉校式

県立高校の再編に伴い牛深高校、河浦高校、苓明高校が3月末で閉校しました。3月1日に牛深高校と苓明高校、3月4日には河浦高校の閉校式が行われました。

各閉校式では校長式辞や来賓あいさつ、生徒代表の言葉のほか校旗収納、校歌斉唱などが行われました。式典には在校生のほか保護者や卒業生など多くの方が訪れ、別れを惜しんでいました。



▲牛深高校閉校式での校長式辞

【牛深高校】

前身は大正14年、牛深町立の牛深実科高等女学校。牛深高等女学校、県立天草女子高校牛深分校、天草高校牛深分校への変遷を経て、昭和26年に牛深高校として独立。通算で92年の歴史があり延べ11,198人が卒業しています。

平成27年度から新たに河浦高校の普通科を統合した、新・牛深高校が開校しており、3年生が卒業する3月末で旧牛深高校が閉校しました。

【河浦高校】

前身は昭和25年、学校組合立の一町田農業高校。天草農業高校一町田分校、県立一町田農業高校への変遷を経て、昭和48年に河浦高校に校名変更。通算で67年の歴史があり延べ7,750人が卒業しています。

平成27年度からは生徒募集を停止し、最後の3年生31人が卒業する3月末をもって閉校しました。



▲河浦高校での校旗収納

【苓明高校】

前身は大正9年、県立の天草実業学校。天草農業学校、天草農業高校への変遷を経て平成5年に苓明高校に校名変更。通算すると96年の歴史があり延べ17,896人が卒業しています。

平成27年度からは、苓明高校としての生徒募集を停止し、天草拓心高校を開校。苓明高校生として入学した3年生が卒業する3月末で苓明高校は閉校しました。



▲苓明高校閉校式での生徒代表の言葉

時間と気持ちに余裕ができます

買物支援タクシーの試験運行開始



▲買物支援タクシーに乗り込むようす

市は2月から、公共交通の利用が不便な地域への対策として、本町宇土地区で「天草市買物支援タクシー（予約制乗合タクシー）」の試験運行を開始しました。自宅と市街地間を月2回、片道1人700円で利用でき、降車場所と帰りの乗車場所はそれぞれで決めることができる制度です。

利用された女性は、「自宅まで迎えに来てくれるから、時間と気持ちに余裕ができて助かります」と話していました。

人がら・景色・食材を「あじ」わって！

第2回島あじマラソン大会



▲沿道の応援を受けながら走る参加者

2月25日、御所浦町で「島あじマラソン大会」が開催され、全国から140人が参加しました。同大会実行委員会が、人がら・景色・食材など島の魅力を味わってもらおうとハーフマラソンと宿泊をセットにして行ったもの。島民は給水所での特産物の提供や沿道の応援などでおもてなし。大会後の交流会では海産物などの料理も振る舞いました。参加者は、「島をあげてのおもてなしに感激しました」と満足そうに話していました。

食の安全安心について語り合う

食の安全安心の集い



▲意見交換会のようす

3月8日、倉岳多目的研修集会施設で食の安全の認識を深めようと「食の安全安心の集い」が行われ、約30人が参加しました。

イベントでの食品提供に潜むリスクと予防策をテーマに、天草保健所の職員が、「食中毒予防は、菌をつけない、増やさない、やっつけるの3原則が大事。盛り付けは手袋を着けて行うなど直接手に触れないようにしてほしい」などの話の後、県立大学の学生も交えて意見交換が行われました。

おいしいお茶でおもてなし

和貴保育園ひな祭り作法茶会



▲お点前を披露する園児

3月4日、栖本町の和貴保育園で「ひな祭り作法茶会」が行われました。茶道を通じて礼儀作法を身につけ、豊かな心を育てることを目的に、毎年開催しているもの。1月から練習を重ねた年長組の8人の園児は、和服を着て落ち着いた動作と真剣な表情でお点前を披露。たてたお茶は招待客に振る舞われました。来場者は、緊張した中にもかわいい表情を見せる園児たちに癒されていました。